

「田上山地の秃山の地形学的特性」の一部訂正について

松田博幸・奥西一夫

ERRATA TO “GEOMORPHOLOGICAL CHARACTERISTICS
OF BARE-LANDS IN TANAKAMI MOUNTAIN RANGE”
PRESENTED IN NO. 13A

Hiroyuki MATSUDA and Kazuo OKUNISHI

標記の論文（年報第 13 号 A, pp. 541~555）に校正ミスによる誤植が多数ありましたので以下のように訂正いたします。

場 所	誤	正
p. 541 synopsis 7 行目	six erosional……	five erosional……
“ 本 文 8 行目	段丘堆積物	(段丘堆積物)
p. 542 下から 2 行目	出来る荒れ……	出来るだけ荒れ……
p. 544 上から 2 行目	一部山頂	一部の山頂
p. 546 下から 6 行目	Fig. 5 (B-b 断面)	Fig. 5 (A-a 断面)
“ “ “	得たものであるし	得たものである。
p. 547 上から 5 行目	撓曲運動なって	撓曲運動などで
p. 549 上から 5 行目	Fig. C-c 断面	Fig. 5 B-b 断面
“ “ 7 行目	とほぼ同年代と判断される。	の形成時期に近いと判断される。
p. 551 “ 4 行目	谷底面は局部的で、	谷底面は少なく、
“ 下から 15 行目	(傾斜尾根と……	傾斜(尾根と……
“ “ 10 行目	一般に起伏壁、	一般に起伏量
p. 554 上から 2 行目	……でも前後の……	……でも 1 m 前後の……
“ “ 3 行目	……の通過する lineament 鞍部	……lineament の通過する鞍部
“ “ 8 行目	残積さ	残積土
“ photo. 4	白線が最も上に上がっている位置(すなわち白線と支流が交わる点)に inflection point を示す記号(1)がある。	
p. 555 上から 3 行目	象底面	谷底面
“ “ 4 行目	回春形態違い	回春形態の違い
“ “ “	露出・壁岩地・流土地・森林地	露出・壁岩地, 流土地, 森林地
“ “ 9 行目	残積土である。	残積土であると思われる。